



平成 29 年 2 月 3 日

各 位

会 社 名 ヤマシンフィルタ株式会社  
代 表 者 名 代表取締役社長 山崎 敦彦  
(コード番号：6240 東証第一部)  
問 合 せ 先 執行役員管理本部長 井岡 周久  
(TEL. 045-680-1671)

### 業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 29 年 2 月 3 日開催の取締役会において、平成 28 年 11 月 4 日に開示した平成 29 年 3 月期通期（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）の業績予想の修正を行うことを決議いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

#### 1. 平成 29 年 3 月期 通期連結業績予想数値の修正

(平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	9,345	780	720	464	37.31 円
今回修正予想 (B)	9,950	880	810	560	45.02 円
増減額 (B-A)	605	100	90	96	—
増減率 (%)	6.5%	12.8%	12.5%	20.7%	—
前期通期実績 (平成 28 年 3 月期)	9,458	407	349	183	14.79 円

※前提為替レート 米ドル 100円 (前回見通し公表時 100円)

ユーロ 110円 (前回見通し公表時 110円)

#### 2. 業績予想の修正理由

平成 29 年 3 月期の建設機械市場の見通しにつきましては、前回通期の業績予想を公表した平成 28 年 11 月 4 日時点と比較し、建設機械の需要の動向は地域間でばらつきはあるものの、主要市場の一つである中国では、公共投資を下支えにした建設機械の更新需要の回復により、全体では需要の回復が鮮明になりつつあります。

このような外部環境の変化に加え、当社がグループ一体となり取り組んでいるコスト削減計画「PAC16」の成果により、前回公表した通期の業績予想を上回る見通しとなったため、平成 28 年 11 月 4 日に公表した通期の業績予想の修正を行います。

- a. 売上高については、ライン用フィルタに関しては、政府による公共投資を下支えに、建機の更新需要の増加がみられる中国市場や、インフラ投資の増加に伴うアジア市場の需要の増加により、前回開示した業績予想に比べ約4.4%の増収となる見込みです。  
また、補給用フィルタに関しては、前年度下期に得意先各社が実施した在庫の持ち高調整の反動を受け需要が増加したことに加え、中国のアフターマーケット市場における建設機械の稼働時間は増加傾向にあることから、前回開示した業績予想に比べ約9.3%の増収となる見込みであり、売上高全体では、前回開示した業績予想に比べ6.5%の増収となる見込みです。
- b. 営業利益については、売上高の増加及び前年度より引き続き、利益確保のためのコスト削減計画「PAC16」を実施し、想定を上回る削減実績を達成する見込みであることから、前回開示した業績予想に比べ12.8%の増益となる見込みです。
- c. 経常利益については、営業利益の増加に伴い、前回開示した業績予想に比べ12.5%の増益となる見込みです。
- d. 親会社株主に帰属する当期純利益については、経常利益の増加に伴い、前回開示した業績予想に比べ20.7%の増益となる見込みです。

なお、配当予想につきましては、平成28年11月4日に開示した「業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」の内容に変更はありません。

※ 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

以 上